

## ◆◆◆ 教えて!ウエヤマ先生!! ◆◆◆



幼児期の子供たちのお手伝いは、初めは保護者の姿を真似ることの楽しさや、やってみたいという気持ちから始まるでしょう。できた程度にかかわらず、保護者から「ありがとう」の言葉が言ってもらえることで、子供たちは役に立てた喜びや、認めてもらえた嬉しさを感じます。このようにお手伝いを通して心地よさを感じることは、誰かの役に立ちたい、人と協力したいという社会性の育ちにとって大切な経験です。食事の準備や掃除などのお手伝いには、大人の繰り返しの手助けが必要なことも多いですが、ゆっくりと見守っていききたいですね。

うえやま るつこ  
上山 瑠津子先生

福山市立大学教育学部  
児童教育学科 准教授/  
研究分野は、幼児教育学、  
発達心理学/  
保育者の専門性に関する  
研究を行っている。

## ◆◆◆ お手伝いに関するおすすめの本 ◆◆◆



しろくまちゃんの  
ほっとけき

わかやまけん  
出版社:こぐま社

しろくまちゃんがお母さんと一緒にホットケーキを作ります。「ぼたあん」「ぶつぶつ」「ふくふく」と焼きあがる音は子供も声に出してまねをしたくなる絵本です。



ぐるぐる  
せんとく

矢野 アケミ  
出版社:アリス館

絵本を洗濯機に見立て、いろいろな洗濯物がぐるぐる回るのが楽しく描かれています。読み終わったあとは、親子一緒に洗濯物をポン!と入れてみましょう!

## 紹介した本は広島県立図書館で借りられます!

### ★広島県立図書館

広島県立図書館  <https://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>



### ★家庭で「ちょっとやってみよう」と思える、役立つ情報を発信中

親子コミひろしま  <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/.site/oyakokomi/>



子供にとって遊びや日々の生活全てが学びです!

幼児  
(3~5歳)  
シリーズ12  
お手伝い編

# 「遊び」は「学び」



### CONTENTS

- ・遊びの中で、お手伝いを楽しむ。
- ・子供が飽きずにお手伝い好きになる3つのポイント。
- ・お手伝いを続けると、こんなプラス効果も!

遊び 学び 育つ ひろしまっ子!

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

「遊び」は「学び」

バックナンバーはこちら→



# 「遊び」×「お手伝い」で育まれる5つの力。

子供が大人のやっていることに興味を示し、大人の見よう見まねをするようになったら、家事の一部をお手伝いとして親子で一緒に楽しんでみましょう。お手伝いの後に「ありがとう、よくできたね」と褒めてあげれば、子供はうれしくてもっとやりたくなるでしょう。

## 子供にとって 遊びや日々の生活 全てが学びです！



**おおむね 5歳頃～**

感じる・気付く力

うごく力

考える力

やりぬく力

人とかわる力

「ピカピカのお風呂に入れるのうれしいな！」

「どうやったら汚れが取れるかな？」

毎日使うお風呂をきれいにすることで、「家族のために」という責任感が生まれてきます。

お風呂掃除は水遊び気分でお手伝いにチャレンジできます。自分できれいにしたお風呂に入ることにより、やりがいを理解するきっかけにもなります。ただし、少ない水量でも溺れる危険性があるので、子供だけに任せるのではなく、親子で行うことをおすすめします。

**おおむね 4歳頃～**

感じる・気付く力

考える力

やりぬく力

人とかわる力

「次は何色を乗せてみる？」

「どうやったら美味しく見えるかな？」

「トマトの赤きれいだね！」

自分がつくった料理が食卓に並ぶと、きっと喜んでくれるはずですよ。

例えばボウルに材料を入れたり、混ぜたり、野菜をちぎったり、盛り付けたりするのもいいでしょう。子供が好きなメニューなら張り切って手伝ってくれるきっかけにつながります。

子供の発達には個人差が大きく、環境によって異なります。子供の個性や発達のペースを大切にして、温かく見守っていきましょう。

**おおむね 3歳頃～**

考える力

やりぬく力

人とかわる力

「しましまの靴下がそろったね！」

「この靴下の仲間わかるかな？」

自分でもやってみたいという気持ちを大切に、あたたかく見守ってあげましょう。

大人がやっていることに興味を持ち、自分でもまねをしたがる時期。子供は大人のことをよく観察しています。

**親子で一緒に遊ぶ効果**

- ★ 親子で同じ作業をすることで、親子のコミュニケーションになる。
- ★ できることが増えることで自信がつき、自立につながる。
- ★ 家族や人への思いやりが生まれ、社会性が身につく。
- ★ 人に必要とされていると感じ、自分自身の満足感を覚える。

**子供の思いを大切に親子で一緒に楽しんで**

子供によって、できることは様々です。できないからといって焦る必要はありません。子供が自分で考え、やりぬく場面を与えることは、子供にとって良い成長のチャンスになるでしょう。親子でお手伝いを通じたコミュニケーションを楽しみましょう。